

III 健康寿命の延伸に向けた提言～社会健康医学の研究推進～

○静岡県が推進すべき4つの提言により、健康寿命の更なる延伸を図る。

社会健康医学に着目した取組

期待される成果

目標

提言① 研究の推進

- ・ 医療ビッグデータの活用
- ・ 施策の体系化や臨床研究のための疫学研究
- ・ ゲノムコホート研究

!

提言② 人材の育成

- ・ 医師や看護師、薬剤師など医療専門職を主な対象とした教育の実施
- ・ 社会健康医学を理解し、地域のリーダーとなる人材（専門職）の育成

!

提言③ 拠点となる仕組みの構築

- ・ 研究と教育の拠点となる仕組みの構築

!

提言④ 成果

- ・ 社会健康医学の取組により得られた成果の県民への還元

!

効果的施策の展開

医療水準の向上

健康意識の醸成

静岡県の健康寿命の更なる延伸

世界から憧れを呼ぶ健康長寿ふじのくにの実現

IV「社会健康医学」基本構想検討委員会委員

○委員長、50音順、敬称略

- | | |
|--------|---|
| ○ 本庶 佑 | 静岡県公立大学法人理事長 |
| 佐古 伊康 | しずおか健康長寿財団理事長 |
| 田中 一成 | 静岡県立病院機構理事長 |
| 鶴田 憲一 | 全国衛生部長会会長（静岡県理事（医療衛生担当）） |
| 徳永 宏司 | 静岡県医師会副会長 |
| 中山 健夫 | 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 健康情報学分野教授 |
| 宮田 裕章 | 慶応義塾大学医学部医療政策・管理学教授 東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座教授 |
| 宮地 良樹 | 滋賀県立成人病センター病院長（京都大学名誉教授） |
| 望月 律子 | 静岡県訪問看護アソシエーション協議会会長 |
| 山本 清二 | 浜松医科大学理事・副学長（教育・産学連携担当） |
| 山本 敏博 | 静岡県社会福祉法人経営者協議会会長 |

「静岡県の健康寿命の延伸に向けた提言」を知事へ手交



健康寿命延伸に拠点必要

基本構想 検討委 知事に提言書

県民の健康寿命延伸に向けた県の基本計画策定に機微提言を行う「社会健康医学」基本構想検討委員会の本座佑委員長が8日、計5回の会合をまとめた提言書を川勝平太知事に手渡した。本座委員長が「施策の成否を出すには、しっかりとした拠点をつくるべき」と述べたのに対し、川勝知事は「しかるべき場を考えた」と感じた。

(政治部・山下達美)

提言は①医療ビッグデータの活用や疫学研究などの推進②社会健康育成を行う拠点の構築③得られた成果の県民への還元④の四つ。川勝知事は研究実行や人

材確保にはまず拠点が必要との認識を示し、早期に明確にする考えを本座委員長に伝えた。

県は2017年度基本構想検討会のメンバーを中心とした基本計画検討委を設置し、提言を施策として具体化する。17年度当初予算案に事業費2500万円を計上している。

社会健康医学は疫学・治療法を研究するのではなく、予防に重点を置いた新しい学問分野。

本県は介護を必要としない生活を送れる期間を示す「健康寿命」がトータルで、さらなる延伸を目指して基本計画を策定する。

【平成29年3月9日（木）
静岡新聞朝刊に掲載】